

千葉県多文化共生推進プランにおける目標設定

- ・ 外国人県民が最近5年間で30%以上増加している中、国は、在留資格「特定技能」の施行を始めとした外国人労働者の受入拡大施策が進めていることから、今後はこれまで以上の速さで外国人県民が増えると予想。
- ・ 外国人が日本人と同じように安心して暮らし働くことができるための支援を、効果的・効率的に進めていく必要。

加えて、

- ・ 本県の活力を維持していくために、外国人県民を支援対象としてだけでなく、生活者・地域住民としてとらえていくことが非常に重要。
- ・ 本県の総人口が2060年には30.3%減少すると推計されており、人口減少と少子高齢化の進展が見込まれる中では、外国人を含む全ての人を地域社会の担い手と認識し、能力を最大限に発揮し活躍できる社会づくりが不可欠。



【基本目標】

外国人と日本人が、共に地域社会の一員として、安心して暮らし働き、活躍することのできる県づくり

【施策目標 1】

外国人と日本人が共に地域社会の一員として暮らし、活躍する県づくり

- ・ 多文化共生の意識啓発や外国人と日本人の交流を通じて、相互に親しみを感じ地域社会の一員であることを理解してもらう施策を推進。また、外国人県民が地域社会の中で自発的に活躍できる機会を創出。

【施策目標 2】

外国人が安心して暮らし、働ける県づくり

- ・ 言葉が通じない、制度が分からないといった外国人特有の理由から公共サービスの利用が難しい外国人県民に対し、外国人向けの相談窓口や日本語教室の整備といった全般的なコミュニケーション支援をはじめ、教育、住宅、医療・保健・福祉、防災等の各分野において支援の充実を推進。